



警告

●モップを脱水する際は、ハンドル上端の穴に指を入れたままペダルを踏まないでください。ハンドル上端は固定されているため、指を入れたまま回転させると大変危険です。●本製品は高速回転しますので、お子様がいたずらしないよう十分ご注意ください。●火気や暖房器具のそばでは使用しないでください。火災や、やけど、製品の破損・変形・変色の恐れがあります。●脱水ザルは、本体のモップの水切り以外の目的では使用しないでください。●脱水ザルが回転中は、ザルやペダル部分に絶対に手などを入れないでください。特にお子様やペットが近くにいる場合は十分ご注意ください。



使用上のご注意

●用途以外の目的には使用しないでください。●製品を移動するときは引きずらないでください。本体や床が傷つくことがあります。●必ず水平で安定した場所でご使用ください。●モップヘッドを装着する際は、カチッと音がするまでジョイント板をしっかり押し込み、外れないことを確認してください。●使用中バケツが滑るおそれがありますので、十分ご注意ください。●バケツに満タン水位以上の水を入れると、水があふれることがあります。水を入れすぎると、ザル部分から水が戻り、モップの水が切れなくなります。●ペダルを踏む際には、靴などを履いてください。●ペダルを踏み始めるときは必ずゆっくりと踏んでください。強く踏みすぎるとバケツが倒れたり、水しぶきが飛び散る恐れがありますので、十分ご注意ください。●モップの房は全部ザルに入れてください。房がはみ出していると回転が悪くなったり、水が飛び散ったりします。●ペダル部分の分解・改造は絶対にしないでください。一度分解すると組立できません。●モップを脱水、洗浄する際は、必ず回転グリップ部分を握って行ってください。●モップに固いゴミなどがついたまま押しつけると、清掃面を傷つける恐れがあります。●金属部分の腐食やサビ・変形・変色の原因となりますので、以下のことにご注意ください。直射日光の当たる場所や高温多湿になる場所に長時間置かないでください。水分、油、洗剤などが付着した場合は、素早く拭き取ってください。シール、テープなどを貼らないでください。●事故防止のため、ご使用後はお子様の手の届かない場所へ保管してください。

使用方法

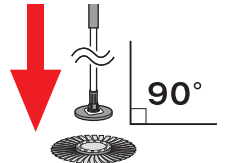
- バケツ内側の満タン水位(MAX線)以下に水を入れてください。
- モップの柄を垂直にして水に浸したあと脱水ザルに入れてください。
- ペダルを踏んで脱水ザルを回転させてモップの水を切ってください。

モップヘッドの取り付け

- モップの柄をまっすぐ上からモップヘッドの差込口に差し込みます。
- ハンドルが90°になるよう、垂直にゆっくり押し込みます。硬さを感じる場合は、軽く左右に回しながら押すと入りやすくなります。

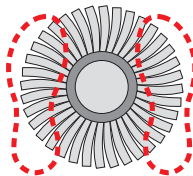


無理に力を入れると柄が曲がる可能性があります。

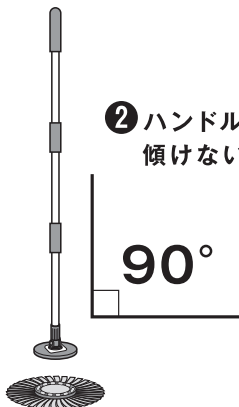


モップヘッドの取り外し

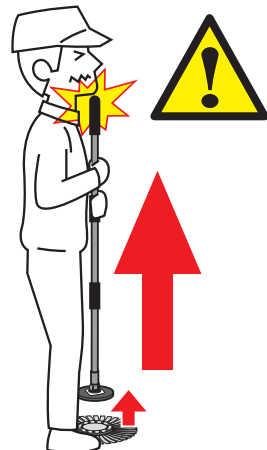
- ① 白いモップヘッドクロスの上に立ちます。
プラスチック製のベース部分には乗らないでください。



- ② ハンドルをできるだけ垂直(90°の角度)に保ち、傾けないでください。



- ③ ハンドルの上に何も無いことを確認してください。
(あごや頭に当たるのを防ぐため)
垂直を保ったまま上にひっぱって外してください。



お手入れの方法

樹脂部分

- 汚れを落とす際は、薄めた中性洗剤を柔らかい布やスポンジにつけて洗い流し、陰干ししてください。
- みがき粉やたわしなどを使用するとキズがつくことがあります。
- シンナー、ベンジンなどの薬品は製品が変質する恐れがありますので、使用しないでください。

金属部

- 汚れを落とす際は、薄めた合成洗剤等(中性)で拭いたあと、固くしぼった布などで洗剤分を拭き取ってください。
- アルコール、ベンジン、漂白剤、みがき粉などは使用しないでください。

モップヘッド

- 使用後は汚れを落とし、よく乾かしてください。洗濯機は使用しないでください。
- 汚れが落ちにくくなった場合は、洗濯用洗剤を使って手洗いしてください。
- 油污れなど洗濯用洗剤で落ちない汚れは、台所用洗剤を多めに入れ、もみ洗いか手洗いしてください。
- 乾燥機は使用しないでください。樹脂部分が変形・破損する恐れがあります。